

イオングループ 2020年に向けて

2017年12月12日
イオン株式会社

本日お話ししたいこと

1. グループの変革
2. 主要取り組み
3. 2020年の目標水準

1. グループの変革

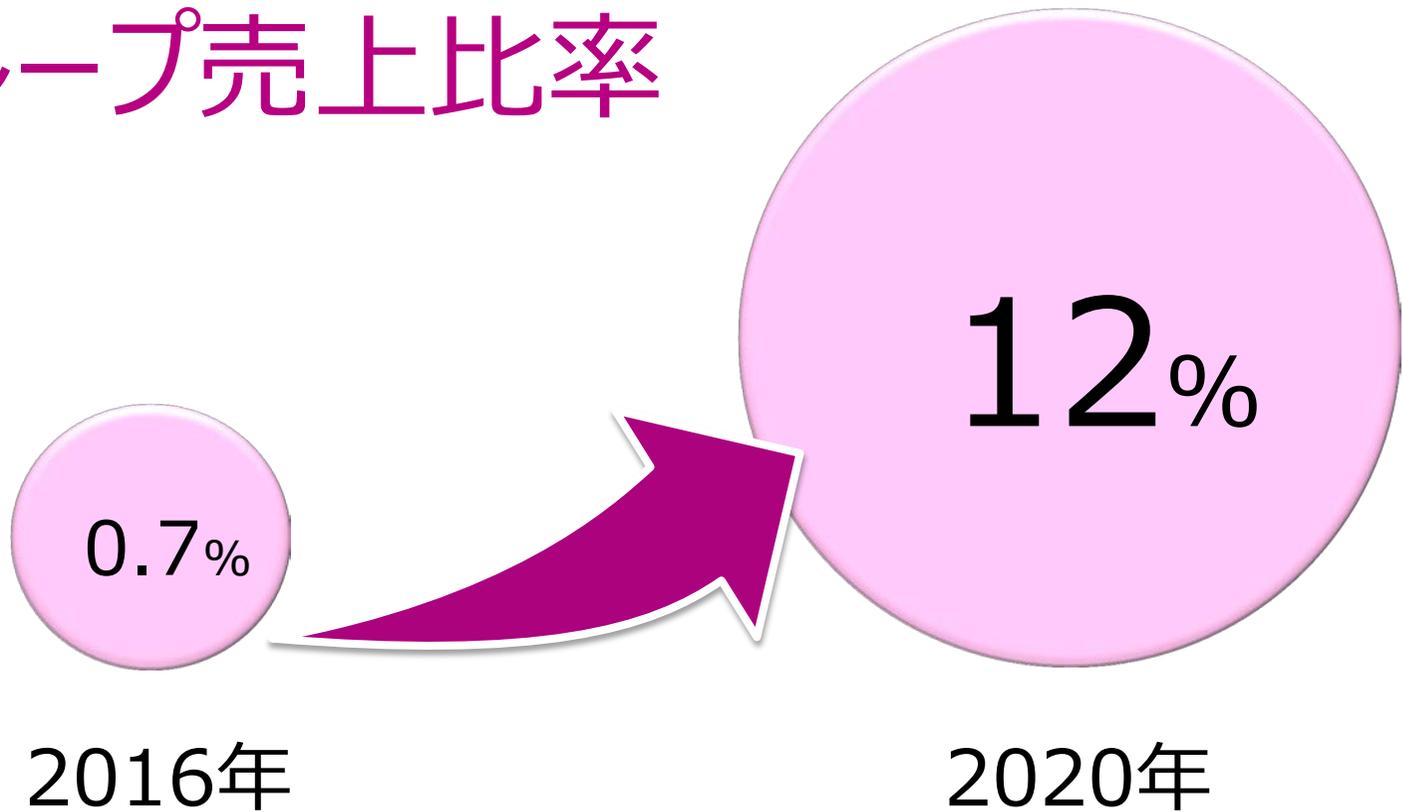
リージョナルシフト

S M、G M S 企業

再編

デジタルシフト

グループ売上比率



アジアシフト

グループ営業利益比率



投資のシフト

IT・デジタル・物流

過去3年

2,000億円



次期3年

5,000億円

2. 主要取り組み

- ① S M 改革
- ② G M S 改革
- ③ デジタル 改革

① S M改革

食を取巻く環境の変化

消費者の変化

- 低価格志向
- ローカル、ナチュラル、オーガニック、トラディショナル

S P A 化

- 脱N B

デジタル化

- アクセスポイント
- 脱労働集約

グループSM事業の統合

北海道

マックスバリュ北海道
イオン北海道

2,300
億円

東海

マックスバリュ東海
マックスバリュ中部

3,200
億円

東北

マックスバリュ東北
イオンリテール東北C

2,000
億円

近畿

ダイエー

3,300
億円

首都圏

U.S.M.H
ダイエー

8,400
億円

中四国

マックスバリュ西日本
マルナカ、山陽マルナカ

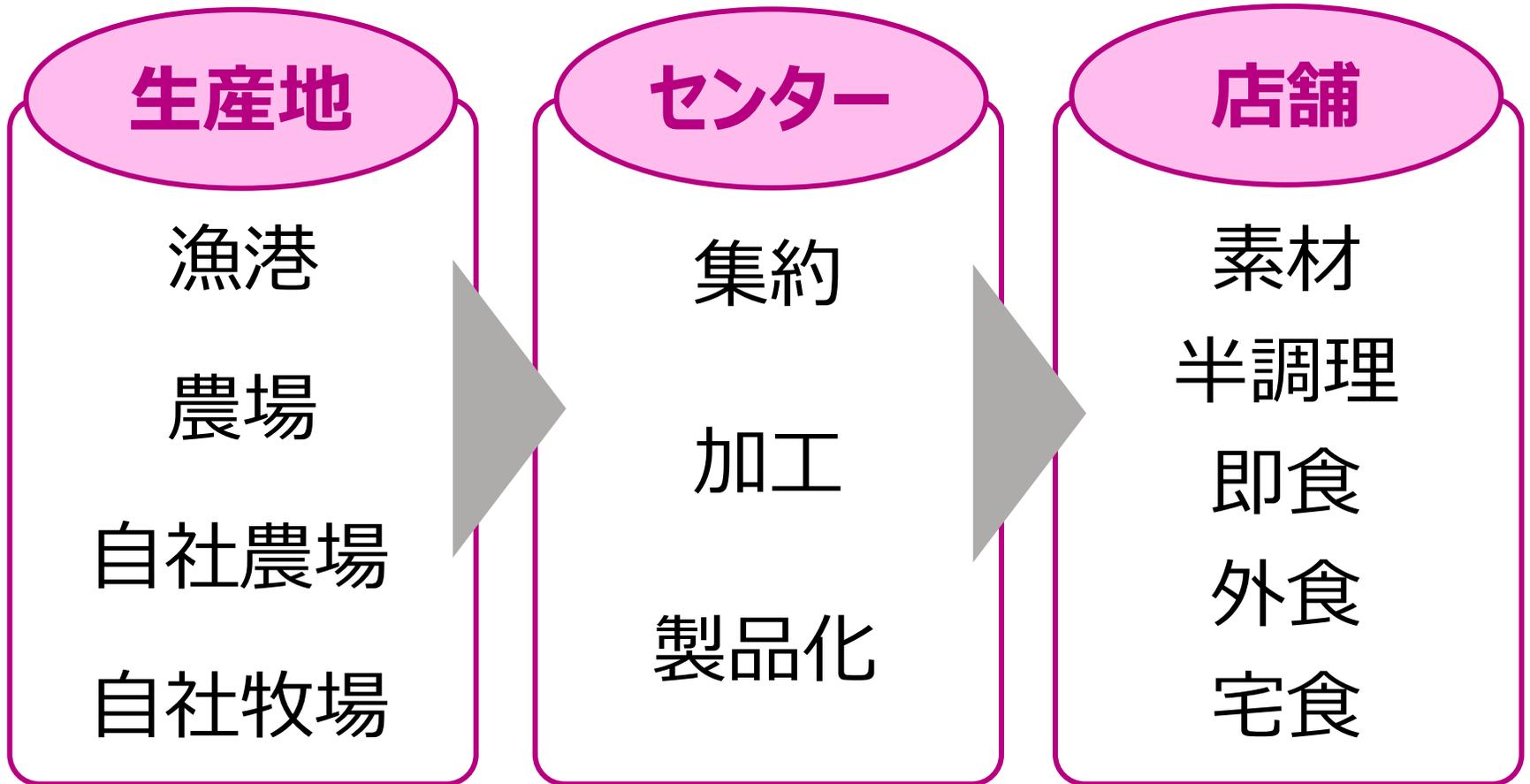
4,000
億円

九州

マックスバリュ九州
イオン九州

3,200
億円

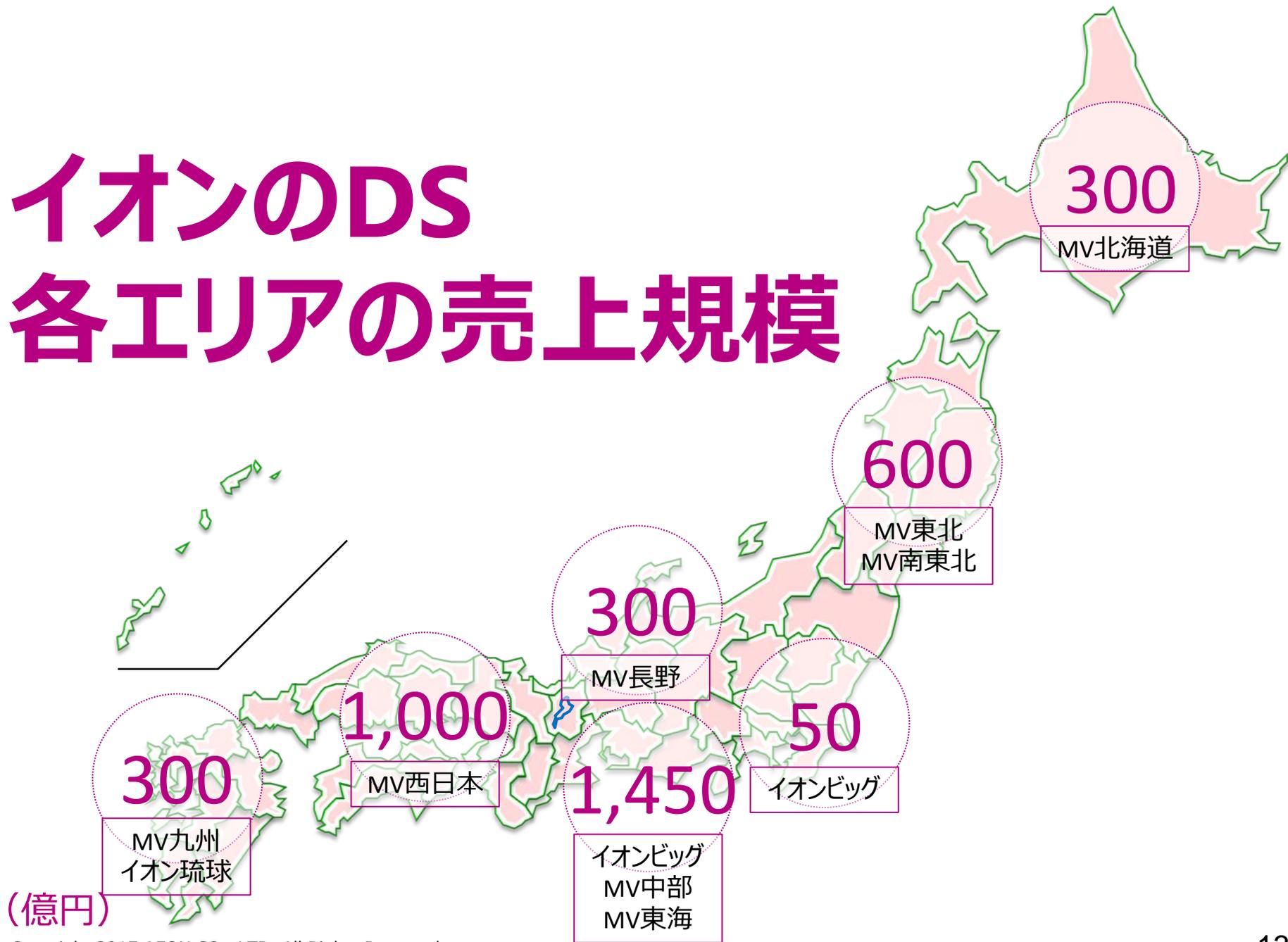
食のSPA化



ディスカウントストア事業

事業の確立

イオンのDS 各エリアの売上規模



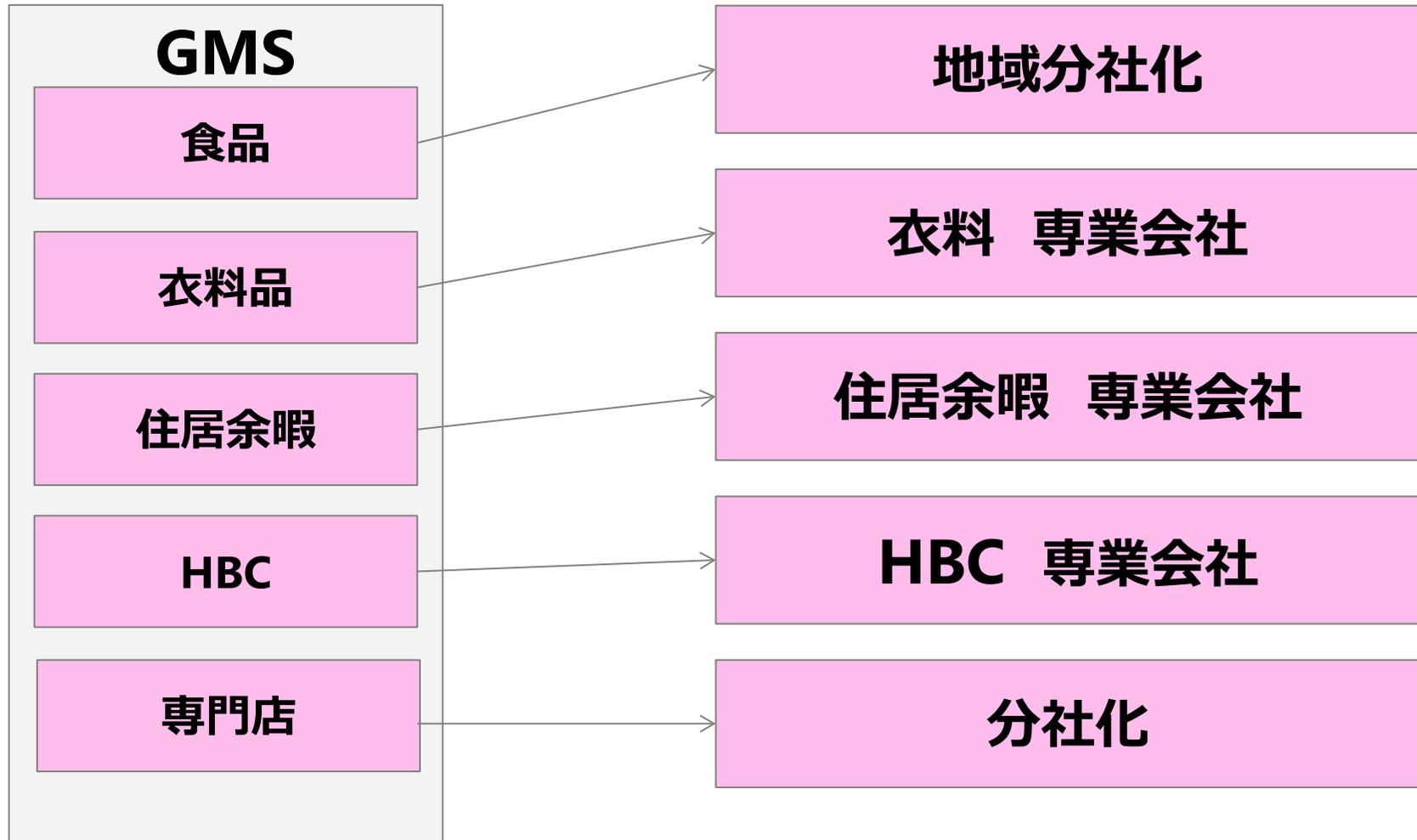
グループの新たな収益の柱へ

ディスカウントストア事業

1兆円超

② G M S 改革

GMS改革後の姿



衣料品ランキング

(億円)

順位	企業	売上
1位	ファーストリテイリング	8,100
2位	しまむら	5,700
3位	イオン	5,000

※2017年2月期決算数値（ファーストリテイリングは2017年8月期国内売上高）

ホームファッションランキング (億円)

順位	企業	売上
1位	ニトリ	3,000
2位	イオン	1,100
3位	良品計画	800

※ニトリ、良品計画の売上は、各社2017年2月期決算関連資料より、ホームファッション部門の売上を集計

H B C ランキング

(億円)

順位

企業

売上

1位

イオングループ

9,300

2位

ツルハグループ

5,800

3位

マツキヨグループ

5,400

※2017年2月期決算数値

専門性を高め、さらなる成長



イオンリカー



イオンバイク

新たな便利さの提供

食中心の
「モノ」+「コト」

3,000m²

- 食品
- グローサラント
- HBC
- コミュニティスペース

③ デジタル改革

デジタルにおける取り組み

強み

弱み

ネット
専業

- 便利さ
- 価格

- 鮮度
- 不便さ（返品、交換）
- 体感、体験できない

イオンの弱み

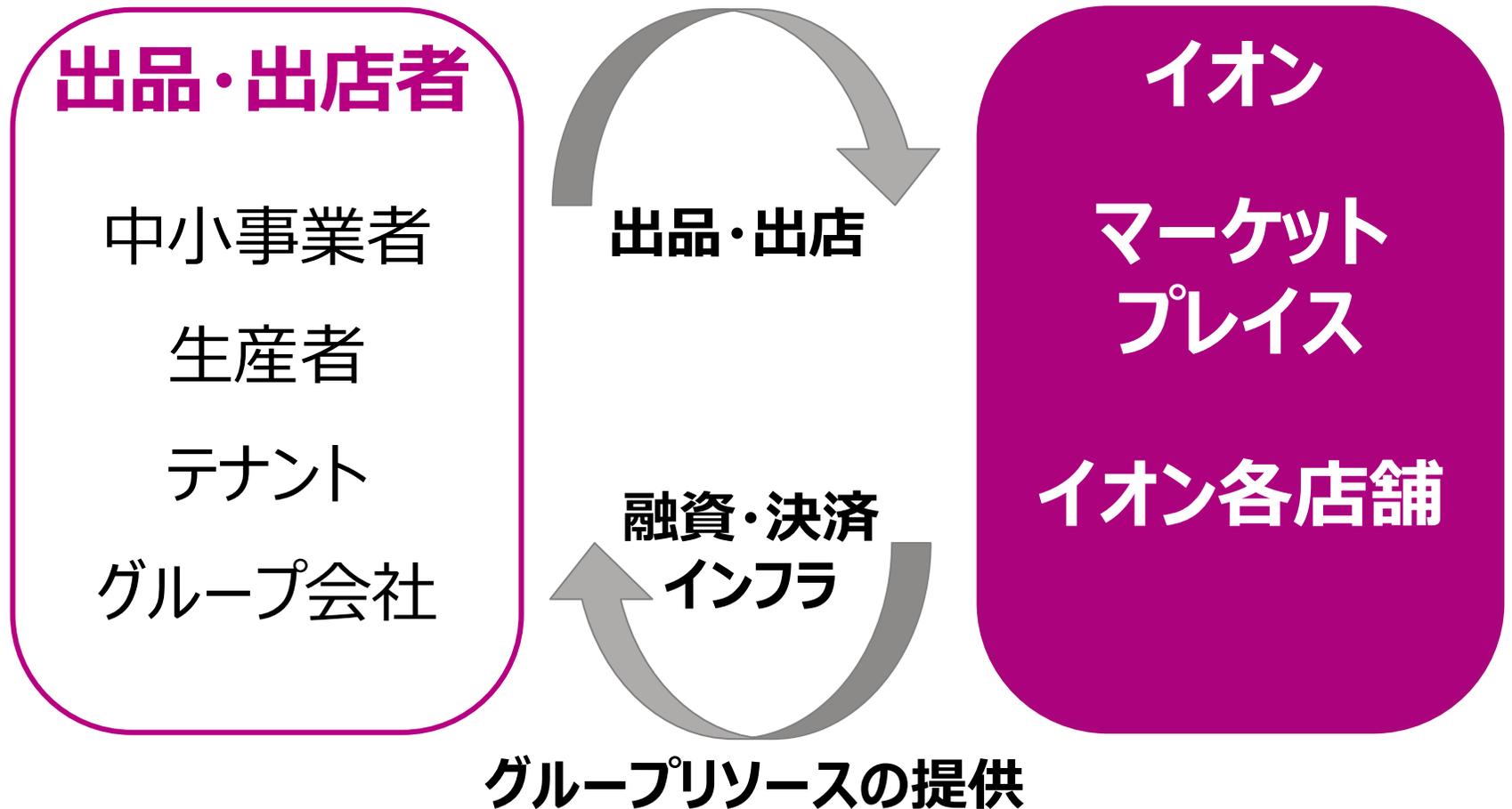
イオンの強み

イオン

- ①マーケットプレイスの構築
- ②店舗のデジタル化
店舗の活用

- ①食の強化⇒リアル
ネットで圧倒
- ②ネットとリアルの融合
ネットの不便さ解消

マーケットプレイスの構築



店舗のデジタル化

お客さまの
利便性

業務の
効率化

- ストレスフリーなお会計
- AIを活用した発注、顧客分析
- 拡張現実、仮想現実を活用した商品提案
- 受け取り場所・方法の自由度拡大
- 物流センター、プロセスセンターのロボット化

3. 2020年の目標水準

2020年に目指す水準

営業収益 10兆円

営業利益 3,400億円

組織の 圧倒的な若返り



予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- この資料の著作権はイオン株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。